

### ◇秋の日はつるべ落とし。夕闇が落ちる校舎にて思う◇

- “校長先生、ちょっと来て”。1年生の男の子に呼ばれる。何だろう？と思って近づくと、とっても驚いた様子で”校長先生、カラスが道路を食べてる！！“(^\_^)。これこれ、この感覚に癒される。カラスが道に落ちている何かをついばんでいたのだが、子どもだから、それも低学年だからこそ見える違った景色がそこにある。きっと子どもたちは毎日毎日いろんな不思議と出会っているのだろう。
- “校長先生、ちょっと来て”。2年生の女の子に呼ばれる。何だろう？と思って近づくと、にっこり笑って投げてきたのが、例の“バカ”(^\_^)。はい、見事にくっつきました。人になげてくっつく楽しいんだよね、これが。はいはい、いつでもどうぞ(^\_^)
- “校長先生～”。掃除の時間に教室の外を通りかかると、中から手を振る5年生。なにがなんだかわからないままに手を振り返す。???。首をかしげながらも顔はニヤついている。
- “校長先生～”。中学生になったら何買ってもらえるかわかる？え～っ、何だろう？時計とか？“あのね、柴犬買ってもらうんだ”(^^)v。いいなあ。柴犬かわいいもんね。最近は猫派が多いらしいけど、川崎は犬派です。豆柴飼いたい～。
- 木曜日には中学生が陸上記録会の練習に参加をしてくれた。しかし中学生になるとなんてみんな大人なんだろう。もちろん陸上の姿かたちもそうだけど、なにより精神的な成長がスゴイ。難しいことを優しく、優しいことはより簡単に、小学生がより上達するようにあたたかく指導してくれる。毎日の厳しい練習を乗り越えてきたという自信と誇りがあるからこそ、辛さ苦しさを同じくする小学生にやさしくなれるのだろう。このような人間性に触れることができたこと、これがなにより一番の成果だと思う。こんな先輩になりたい、いやなってほしい、そしてなった姿を見たい。
- 5年生の音楽集会。“元気を伝える”。そうそう、5年生はこの“元気”が一番。長休みのサッカーの様子を見ても、いつも職員室に給食をもらいに来る姿を見ても、元気な様子が毎日伝わってくる。音楽集会もこの“元気”が表現されていた。これこそ5年生。
- 音楽集会が終わり、保護者の皆様がイスを片づけようとしていると、さっと6年生がやってきて一緒に片づけはじめる。こういうさりげない行動ができること。決して大きなことではないけれど、その姿に心がほっこりする。
- 職員対抗校内バドミントン大会開幕～。パチパチパチ～。1位から3位まではトロフィー。川崎もがんばっちゃうもんね。でも最強なのは川口t。なんと大学までバドミントン部所属。本当にうますぎ。こりゃ年齢ハンデ欲しいな。川崎に+30点くれれば勝てるかもしれない。(気合を入れてラケット新調しましたよ、甲府のカムイで。店内をうろうろしていると”校長先生“と声をかけられビクッ。振り向くと2年生女の子がお母さんとお買い物。うれしい偶然。)
- 毎朝毎朝、カいっばい声を揃えて「おはようございまーす！！」とあいさつしてくれる1年生の双子ちゃん。こういう元気がこの上なくうれしい歳です。
- とうとう家にはストーブを出した。もう朝晩は肌寒い。今年は熱中症が心配と言っていたのに。ふう、西地区の冬は早い。寒さが骨身にしみる歳です。はい。